

The Real-Life Rewards of Virtual Care

How to Turn Your Hospital into a Digitally Connected Practice with Telehealth

内容

- ・バーチャルケアの用語
- ・なぜバーチャルケアが必要か？
- ・バーチャルケアと VCPR（獣医師、クライアント、患者の間に対面で確立する関係性）
- ・遠隔医療実践のためのサービスモデルと導入環境
- ・遠隔医療を導入するためのステップ
- ・導入例：Coastal Animal Hospital
- ・まとめ：オンライン診療の実践

バーチャルケアの世界へようこそ。

獣医学医療サービスを遠隔技術で提供することは、クライアント、患者、そして医療に関わるスタッフにとって大きなメリットになります。しかし、それら獣医学医療サービスは、デジタル媒体を介して提供されるものであっても、高水準の品質と高い専門性を備えている必要があります。

AVMA および AAHA は、獣医学における品質の高い医療の提供を推進しつつ、バーチャルケアを導入し、遠隔医療によってもたらされる利便性の向上にむけて取り組んでいます。

この小冊子は次のことを行います。

- ・バーチャルケアの分野に出てくる語彙を解説します。それぞれの遠隔医療用語の違いや互いの関係性、バーチャルケアにおける各用語の位置づけについても解説します。

- ・バーチャルケアの中で最も重要な部分である「獣医 - クライアント - 患者間の関係 (VCPR)」について説明します。またテレヘルス (telehealth) とテレメディシン (telemedicine) の違いについても解説します。
- ・さまざまなバーチャルケアサービスの実例を紹介するとともに、手頃な価格で簡単に、有益なデジタル化の導入に役立ついくつかの遠隔医療プロバイダープラットフォーム (導入環境) を紹介します。
- ・遠隔医療プロバイダーとの連携の仕方について、サービスモデルごとの適切な実践例に基づいて紹介します。
- ・あなたの病院にすでにある獣医診療体制に自然に溶け込みながら、バーチャルケアを導入していくためのステップを、わかりやすいバーチャルケア実施ガイドとして提供します。

バーチャルケアとVCPR (Veterinarian-Client-Patient Relationship)

遠隔医療を正しく行うためには、現状としてVCPR が必須条件です。

緊急時などの例外を除いて、許可を受けた開業医が獣医診療に従事する場合は、患者との間にVCPRを確立していることを確認する必要があります。

この要件は遠隔診療も含まれます。つまりあなたが適切に遠隔医療を実践していることを保証するためにもVCPRは重要です。

米国獣医学会 (AVMA) のほとんどの州および獣医医療倫理の原則は、動物を診断、処方、またはその他の方法で治療するために獣医師にVCPRを要求しています。連邦法はまた、動物のための効能外使用薬を処方し、治療用飼料の指示を発行する際にもVCPRを要求しています。

重要なポイントは、小動物のためのVCPRを確立する際は、直接患者に会う必要があります。電話、文書、Skype、その他の電子的手段などを介してVCPRを確立することはできません。州の獣医法では一般的に禁止されています。

AVMAとAAHAは、遠隔医療を実践する獣医師が適切な法的環境で実践することに重きを置くことを約束しています。

VCPRが確立されていれば、

さまざまな遠隔医療のサービスが獣医師および動物病院で利用可能になります。リアルタイムの画像配信などのツールを使って、クライアントの顔を見ながら、獣医師が遠隔で患者の様子確認したり、医療情報にアクセスしながら、診療を行うことも可能になります。

VCPRが確立していない場合は、

獣医師は一般的なアドバイス、または、トリアージは提供できますが、具体的な診断、患者の予後についての言及、または治療行為を行うことはできません。

相手に助言を与える場合でも、ごく一般的なアドバイスにとどめ、個々のケースに特異的な回答は避けます。

獣医学の専門家にとって特に重要なこと

これまでペットのケアで分からないことがあれば、飼い主は専門家である私たち獣医のところへ尋ねて来ていました。しかしいまはデジタルの時代です。ペットの飼い主はネットを使ってさまざまな情報にアクセスするのです。例えば、ペットに関する情報を知るために、ソーシャルメディアをチェックしたり、友人や家族とやり取りをしたり、また動物病院で働くスタッフのいところに連絡したりするでしょう。指先一本で答えにたどり着くことさえできるのです。

それはいつでも正しい答えではないかもしれませんが、答えの一つです。

獣医師として、私たちは彼らには正しい答えを見つけてほしいと思っています。そしてこれは、デジタ

ル時代において獣医師が欠かせない存在であることを意味します。

ペットの飼い主たちは、ペットが回復したと判断したら、再検査のために病院へ来ることを嫌がりません。バーチャルケアはそのようなケースでも、獣医師が再チェックできる機会を増やしてくれます。クライアントが独自にインターネットで調べて見逃してしまう様なことであっても、スカイプを利用してあなたが相談に乗ることで、なにか重要なことが見つかるかもしれません。それは結果的に患者とクライアントの満足度の向上につながります。

オンラインの獣医診療は答えの一つです。クライアントのペットが突然体調を崩したとき、クライアントが獣医師にメッセージを送ったり、アプリに接続するだけで、グーグル検索よりも早く簡単に獣医師に相談ができるとすれば…クライアントはグーグルに頼ったりするのでしょうか？

彼らは、個人的な関係を確立している信頼できる専門家に助けを求めるでしょう。オンライン診療の体制があれば、彼らはあなたに連絡するでしょう。

※原文より一部抜粋して翻訳、編集をしております。より詳細は、[会員専用ページ](#)、

もしくは原文 ([The Real-Life Rewards of Virtual Care](#)) をご覧ください。